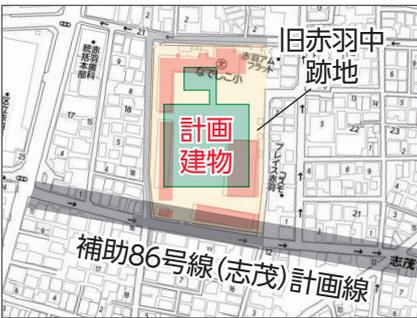




旧赤羽中学校跡地に

病院・老健施設・保育園

公募型プロポーザルによる貸付事業者が住民説明会開く



事業者による説明では、敷地内に医療施設、介護老人保健施設、認可保育所などを建設するとともに、ポケットパークや「つどいの小径」を配置する計画が

18日、赤羽会館で、旧赤羽中跡地利活用事業について、公募型プロポーザルによる貸付事業者が主催する住民説明会が開かれ、建物配置計画などの概要が明らかになりました。(のの山けん)



計画概要(建物配置計画イメージ)

冒頭、北区から、公募型プロポーザルで医療法人社団博栄会とライクアカデミー株式会社が貸付事業者に選定された経過が報告されました。事業者による説明では、敷地内に医療施設、介護老人保健施設、認可保育所などを建設するとともに、ポケットパークや「つどいの小径」を配置する計画が

病院を移転し、現在の診療科に加え、婦人科、小児科を新設するとしています。保育園については、地域開放など子育てネットワークの形成や病児・病後児保育を検討しています。説明を受けての質疑では参加者から「垂直避難ではどれくらいの受け入れを想定しているか」、「旧赤中の敷地がなくなることで地域の避難所が不足するのでは」、「周辺の道路の状況から交通渋滞が起きることはないか」、「ポケットパークには赤中の跡地という証を残してほしい」などの意見が相次ぎました。

現校舎の解体工事は、今年の11月頃から始まる予定です。

建物機能概要

- 完成予定時期 : 2021 年秋
- 病院ベッド数 : 195 床 (予定)
- 介護老人保健施設 : 100 床 (予定)
- 通所リハビリ施設 : 定員 50 名 (予定)
- 認可保育所 : 定員 100 名 (予定)

志茂3丁目で「防災街区整備事業」

共同建替えに行政支援



■ : 接道 ■ : 未接道

5日に開かれた北区議会地域開発特別委員会で、志茂3丁目9番地区において行政の支援で共同建替えをおこなう「防災街区整備事業」が計画されていることが明らかにされました。

この事業は、防災性の向上を主な目的とする市街地再開発事業のしくみを活用した共同建替え手法で、都市計画による事業地区の位置づけにより、地権者全員の同意を前提とせず、密集市街地の整備・改善を進めていくことを可能にする制度です。

9億円のうち、国庫補助金、都補助金、都市計画交付金が特定財源として充てられる区の補助交付金約3億円が支出されます。

すべての世帯から同意を

今回の事業では、密集地域での防災性が向上するとはいえ、市街地再開発の手法を導入することから、対象となる全世帯からの同意がなくても、3分の2が賛同すれば共同建替えが進むことになりました。私は委員会の質疑で、「権利者14人中13人が準備組合に加入しているとのことだが、権利侵害が起きないよう、最後まで全世帯からの同意を追求するべき」と求めました。(のの山けん)

不登校の子どもを地域で支えよう

北区政策提案協働事業がスタート

地域支援者団体情報交換会

17日、北とぴあで、子どもの多様な育ちを支える地域支援者団体等情報交換会が開かれました。今年度から、北区教育委員会とNPO法人東京シューレが北区政策提案協働事業として展開する企画の1つです。

不登校の子どもたちを地域で支えようと集まった会場いっぱいの参加者が10のテーブルに分かれて、熱心にディスカッションをおこないました。(のの山けん)

